

私の感性の扉を開けて くださった安藤先生



イラストレーター・デザイナー

内藤 ルネ 氏

岡崎での私の小学校高学年から中学校のころは、戦時から戦後にわたったので、じっくり勉強できる空気はなく、授業中、私は紙切れに絵を描いてばかりいたように思う。

その中で、戦争のため岡崎国民学校となったある日、休まれた担任の先生の代わりに教室にいられた安藤先生のことは忘れられない。なんと先生は「今日は突然のことなので本を読みましょう」と言われ、メリハリのきいた声で力強く読んでくださったのは、ジュール・ベルヌの『海底二万哩』。その時の朗読の迫力は今でも昨日のことのように思い出す。

時節がら、西洋文芸は禁じられていたのではなかったかと今にして思うが、その時、私の幼い柔らかい頭の中に本を読むことの快感が初めて生まれ、陶酔し、感動が体にじんじんとしみ込んでいくようだった。

そして、その時間の終わりに見た安藤先生の、優しい、はにかんだ笑顔は、今も私の中に鮮やかにある。

やがて、岡崎にも大空襲があり、その爆弾で安藤先生が亡くなられたと聞いた時、私の人生で最初の胸がききむしられる辛い衝動が走った。

先生のお葬式に私たちも参列した。季節は春だったのだろうが、晴れた日の寺の木に見たことのない青い小鳥が、まるで奇蹟のように枝々を飛び交っていた。

その鳥を見て私たち生徒は「きっとあの鳥は『来てくれてありがとう』と、先生が挨拶に来られたのだ」とささやきあった。

今振り返ってみると、



内藤ルネ氏の処女出版本が、この5月、45年ぶりに完全復刻された。(河出書房新社 ¥3570)

教育随想



平成16年8月1日
8月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
イラストレーター・デザイナー 内藤 ルネ氏	
この人に聞く	2
作家 田村 恭兵氏	
羅針盤	2
甲山中学校長 梶尾 長夫	
ふれあい	3
梅園 小 渡邊 勇樹 岩津 中 山口 亜樹	
特集	4
来たぞ! ほくらの夏休み!! ～親子で学ぶ、地域とかかわる～	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
福岡小購買部 (昭和7年)	
この本を	8

私は勉強はできない少年だったが、別の感性の種を朗読する安藤先生からいただき、絵やデザインへの道を、幼いながらあの日あの時から歩き出したのではなかったかと思うのである。

(ないとう ルネ)

この人に聞く

ふるさとシリーズ



瞳、輝かせて

作家

田村 恭兵 氏

「このまま終わっていいのかしら。」十五年前、子育てに一段落したとき、奥様のかよ子さんがつぶやいたその言葉が始まりだったと田村さんは笑う。

『何かしなくちゃ』という思いだけで、それまでやったこともないのに二人で走り始めました。一キロが二キロに、それが五キロにと走るうちに、フルマラソンに挑戦することになって。そのうちやりたいことが次々に出てきて、スキューバ・ダイ

ビング、スカイダイビング、スカツシユもと始めたんですよ。」

夫婦でいろいろなことに挑戦するうちに仲間が増え、今は、会社の若い人たちと一緒にホノルルマラソンにも参加しているそうだ。

「何でも夫婦二人で始めるんです。実は『おじさん達のタイムトンネル』を書いたのも妻の勧めで。わたしが昔から書くことが好きだと知っていたんですね。でも目標がないと書き上げられないと思って、この作品を二十九年目の結婚記念日のプレゼントにしようと思いました。」

この素晴らしいプレゼントをもらった奥様は、すぐにそれを出版社に送った。こうして『おじさん達のタイムトンネル』は生まれたのだ。田



村さんの子供時代の体験談は、同年代の人にはたまらなく懐かしいに違いない。

「わくわくする気持ちを思い出しました」という感想をもらったんです。うれしかったですね。子供にも読ませたとくさんの人が言ってくれて、本当に書いてよかったと思いました。大人にも子供にも読んでほしかったから。」

鏡を見て、少年のころの目の輝きを取り戻したいと考えたという田村さん。今の子供たちにも輝く目を持つてほしいと言う。

「今の子供たちは、知識はたくさん持っている。でも知恵を付けてくれる人が周りに少なくなっているでしょう。子供たちには想像力を持つてほしい。他人の痛みを思いやるのも想像力。夢を叶えるにはどうするか工夫するのも想像力だと思えます。わたしの本が、ほんの少しでも役に立てたらうれしいと思います。」

次回作のことや将来のこと、次々と夢を語る田村さんの瞳は、きらきらと輝いていた。

氏名 田村 恭兵
生年月日 昭和二十六年一月一日
住所 東本郷町鹿乗一五一



若き教師の皆さんへ

甲山中学校長 梶尾 長夫

○優れた実践に学び、力をつけるための具体的努力をしているか

私がこれまで出会ってきた優れた実践者は、他の影響や感化はあっても、その力量は自らの努力によって開花させた人たちである。

二十を過ぎた者が、他人の力に頼ってはいけません。

教師が一人前であるか半人前であるか、その境目は常に問題意識を持つて行動できるかどうかにある。

授業がうまくいなくても、改善しようとはしない。仮にそう思っても、行動に移さない。

思ったことを言う、良いことを言う、しかし実行が伴わない。それは本物の問題意識ではない。

○情熱と使命感、そして実践力を持つて仕事をしているか

授業は、子供の感じ方、思い方や

きらめきパワー

梅園小学校 渡邊 勇樹

「きらめきパワーで心を一つに」を合言葉に始まった運動会の練習。私はA男のことがとても心配だった。いつも集団から離れて行動することが多いA男が、「集団の美」を追求する組み立て体操に対して意欲を燃やすことができるだろうか。

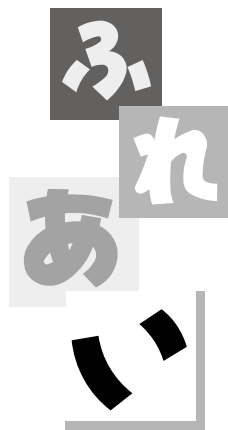
練習が進み、演技が五人組、十人組と増えていくにつれ、「A男、はじめにやれよ」という仲間の声が聞こえてきた。少ない練習時間を気にしながらも、A男ができた技をその都度褒め、周りの子には、「みんなは完璧だから、A男を支えてあげればきっとピラミッドはできる」と励まし続けた。本番が近づくとつれA男も周りの子たちも意欲が高まっていった。

そして、いよいよ運動会当日。十



人ピラミッドの完成の笛を吹くと、真っ直ぐ正面を向く五・六年生二四〇人全ての顔が指揮台から見えた。歯を食いしばる子供たちの中にA男の顔もある。頑張るA男の姿に、ピラミッドを崩す合図の笛を吹くのがとても惜しく感じられた。

学期の締めくくりに、一学期の思い出を書かせた時、「先生見て」と言いながら勇んで持ってきたA男の作文には、「一学期の一番の思い出は組み立てです」と、堂々とした字で書かれていた。



魅力ある授業をしたい

岩津中学校 山口 亜樹

本校では、英語と数学で少人数指導を行っている。私の担当は三年生の英語基礎コース。この二か月の指導で実感したのは、基礎的な力が不足している彼らにとって、集中力を維持することがいかに難しいかである。苦手な生徒にとって分からない授業、楽しさを感じない授業では眠



たくもなるだろう。中でもA男は、興味のわかないことにはあからさまにつまらなそうな顔をし、授業には参加しなかった。窓の外を眺めたり、落書きを始めたりする。

私は、彼を自分の授業のパロメーターにしようと決めた。彼の注意がそれてしまわないように、毎回冷や汗をかきながらの授業。その中で、写真や絵を使って導入をしたり、新しいことを発見したりする授業になると、A男の目がきらりと光ることに気づいた。工夫のある授業ではA男は集中してくれる。私が努力をしなければ、A男は私の授業を認めてくれないわけだ。

最近、A男はまれに手を挙げる。そしてつぶやく。

「おれ、今日頑張ったな。」

それを聞くと私は、「私、今日頑張ったな」と自分に言うのだ。

考え方、行動を踏み外しては成り立たない。だからと言って、子供に勝手気ままに振る舞わせ、行動させ、おしゃべりさせ、教師の願いも意図も計画も見られないような子供中心主義の中には授業は成立しない。

要は、子供の主体的な姿勢と、教師の情熱と使命感が、意図的、計画的に組織づけられていなければならぬ。

このことは、授業に限らず、学級経営、生徒会活動、部活動など、全ての教育活動に通じることである。

○当たり前のことを当たり前だと教えることができるか

子供の起す問題の全てを、学校が解決できるわけではない。ところが、世の中は「子供の問題は、第一義的に責任をとるべき主体は学校にある」と思っている傾向がある。学校以前の問題もあり、なんでも学校で解決するものでもない。

しかし、学校で教えてやらなければならぬ生活上のことがある。それは、社会は何らかのルールで成り立っているということである。その基本を、学校生活を通して実践的に教えることは学校の役割である。

体裁で語り、逃げ腰になってかわる教師であってはならない。



▲ 矢作川をいかだで下ろう (矢作西小)

夏休みは、子供たちが学校から家庭や地域に戻り、生活体験を豊かに広げるよいチャンスである。近年、市内でも子供を支援するために、様々な取組が増えてきた。

長い休みは、日常の学校生活ではなかなか経験できない学習を可能にする。親子で学ぶ機会を設ける工夫は各校でなされておおり、子供たちの生活の場である地域においても多様な取組が行われている。PTAが企画する親子手芸教室や、教師の得意な分野でのサマースクール、学区清掃・河川美化活動へのボランティア参加や、学区の方とともに生徒が行うふれあいバザーの企画等はその一例である。

学区が一体となって創り上げる夏祭りは、親子ともに学区ぐるみの交流の場として運営されているところが多い。藤川小学校では、今年学区で完成した「藤川音頭」を夏祭りでの踊りで広めようと、子供たちが意気込んで練習を重ねている。子供たちは、地域の行事や祭り、ボランティア活動等に参加することで地域社会を知ることができる。たくさんの人たちと触れ合っって人間関係を学ぶことができる。子供にとっては、夏休みに地域で出会う人こそが先生なのである。地域における貴重な夏休みでの体験を、子供たちの成長のために生かしたい。



▲ カブトムシを捕る会 (六ッ美南部小)



▲ 親子ふれあいファミリーキャンプ (少年自然の家)



▲ 親子で汗する活動 (河合中)



▲ 親子奉仕活動 (六ッ美中部小)



▲ 親と子の音楽の集い (根石小)



▲ クリーンアップ ホタル川 (美合小)



▲ 学区夏祭りに向けて太鼓の練習 (藤川小)



▲ 親子手芸教室 (北野小)



▲ 生平学区民盆踊り大会 (生平小)



▲ 夏の集い (大門小)

実施されている主な活動

- ・ 親子ふれあい体験講座 (恵田小)
- ・ サマースクール2004 (奥殿小)
- ・ 学区納涼夏祭り大会 (六名小)
- ・ 学区七夕祭り (愛宕小)
- ・ 学区納涼祭 (緑丘小)
- ・ 親子夏祭り (上地小)
- ・ 親子パソコン教室 (岩津小)
- ・ 岡崎観光夏祭りお囃子参加 (北中)
- ・ 河川美化活動 (城北中)
- ・ 学区清掃活動 (羽根小と南中)
- ・ 子供会キャンプ (常東小)



● 教育最新情報

今、「子供の安全」が脅かされている。六月二日に、長崎県佐世保市で、小学六年生の女子児童が同級生を殺害するという事件は、衝撃的で記憶に新しい。

文部科学省は平成十六年一月に「学校安全緊急アピール」を出している。その中で、学校安全に関する具体的な留意事項が示された。

○ 学校による具体的取組

- ・実効ある学校マニュアルの策定
- ・教職員の危機管理意識の向上
- ・子供の防犯教育の充実

市内では全小中学校で、危機管理マニュアルや、生徒指導マニュアルを作成し、訓練も含めて、教師や児童生徒の



危機意識の向上が図られている。

学区防犯マップを作成している小学校は、二十九校から、平成十六年度は三十七校に増えた。中身も「子供一〇番の家」や「危険箇所」の表示に加えて、「通学路」、「避難場所」、「変質者注意」等の項目が増え、充実したものとなっている。中学校についても、独自に作成したり、小学校のマップを利用したりして安全対策にあたっている。

○ 地域社会に協力願いたいこと

- ・学校安全の取組にご協力いただける方の組織化
- ・不審者情報を地域で共有できるネットワークの構築

これまでも、スクール・サポーター・ボランティアとして、地域の方が組織を作り児

童・生徒の安全に協力していただいている。たとえば、A小学校では「防犯ボランティア」として、現在三三一名の方が登録している。不審者情報、危険箇所情報を警察や学校に通報すると共に、登下校時に通学路に立つて安全指導をしていただいている。

また、「愛犬パトロール」として、地域の方が犬の散歩中に不審人や車を見つけたら、警察や学校へ連絡するなど、防犯意識の高揚と地域の安全を守る活動に取り組んでいる。この学区では現在飼い主二十四人と二十六頭の犬が登録されている。

ほかにもさまざまな工夫をして児童生徒や地域の安全対策に取り組む地域が増えている。



▲ 住民による登下校ボランティア

● ハートピア岡崎だより

玄関照明灯のグローブの上でツバメの夫婦が、現在二番の子育てに懸命である。近所のスズメの妨害に遭いながらも、一番子五羽を、つい二週間ほど前に無事巣立ちをさせたばかりである。

自然の摂理に従い、懸命に子育てに励む夫婦の姿は、子供たちに感動を与えている。さて、ハートピア岡崎の最も大切な仕事は、通所してくる子供たちと生活を共にし、楽しく社会生活を送る知恵を育てることだと考えている。

そのためには小集団での体験活動が最も有効と考え、毎日の清掃や飼育栽培活動、スポーツやゲーム、調理実習等の様々な活動を実施している。所内は、現在十名前後の子供が通所している。職員は、非常勤一名を含め七名である。今年度の傾向としては、通所生の数は減少傾向にあり、各校の不登校対策が成果を上げてきたと思われる。ところで、小学生の見学や

相談件数は、昨年よりも増加しているにもかかわらず、通所を前提にした初回面接までにはほとんど至っていない。これは、保護者の送迎の手間を考えれば無理からぬと思うものの、子供のことを考えると残念でもある。

先日、学校復帰を間近に控えた中学三年生の女子の母親からこんな手紙をいただいた。

今までは友達とのやりとりや他の出来事の話はほとんどなかったですが、最近ハートピアを見て自分の感じたことを話してきいたり、質問してきたりすることが増えてきました。わからないことに対して知りたいという気持ちが生まれてきたのだと思います。スポーツは特に苦手でしたが、ハートピアを続けることによって上達する楽しさを教えていただき、家でもスポーツをする機会が増えてきました。ゴルフの練習も最近は弟より熱心に父親を誘うようになりました。本当に嬉しく思っています。

この生徒は、ほぼ毎日相談室登校が出来るほどに回復した。

●表 彰

- ◆ペプシカップ第二十四回全日本バレーボール小学生大会愛知県大会
男子の部 優勝 竜美丘小学校
女子の部 優勝 上地小学校
※男女ともに全国大会出場
- ◆アイシニックカップ二〇〇四全国中学生バスケットボール大会
男子の部 優勝 竜海中学校
- ◆第十一回愛知県中学校カヌー大会
男女総合優勝 新香山中学校
男子総合優勝 新香山中学校
女子総合優勝 新香山中学校
- ◆愛知県陸上競技協会駅伝強化長距離
中学生三千M男子の部
優勝 東海中学校 藤井延幸
- ◆第十八回わんぱく相撲愛知県選手権大会
女子小学校四年生の部
優勝 根石小学校 加古若菜
※全国大会出場
- ◆第二十一回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
テレビ番組部門
最優秀賞 東海中学校
- ◆第五十回全日本教員ソフトボール選手権大会
全国大会出場 岡崎教員クラブチーム

●海外姉妹都市交流事業

第二十三回目となる姉妹都市ニューポートビーチ市との交流において、七月六日から十三日まで、付き添い二名と中学生五名を受け入れ、助役表敬訪問、ホームステイ、学校訪問などを通して友好を深めた。受け入れたメンバーは次のとおりである。

- 中学生
クワイン・ヤナガ
メーガン・ガール
ヘザー・カーフマン
コルトン・ディロン
ジェフ・カールソン
ジュリー・オーブロッグ
ジュン・ケイヒル
- 付添者



▲ 助役表敬訪問

◆第48回岡崎市中学校総合体育大会の記録（水泳の部）

種目	氏名	学校名	記録	備考	種目	氏名	学校名	記録	備考
50m自由形	柳 雄人	竜海	25"5	新	50m自由形	森 菜見子	矢作	31"6	
100m自由形	永田 泰寛	附属	58"9		100m自由形	小島 樹里	附属	1'05"1	
200m自由形	田端竜之介	矢作北	2'09"5		200m自由形	岩下なつみ	城北	2'14"5	新
50m背泳ぎ	柳 亮平	竜海	33"3		50m背泳ぎ	高田 理江	竜海	33"6	タイ
100m背泳ぎ	森光 吏	東海	1'13"2		100m背泳ぎ	近藤 理紗	甲山	1'10"7	新
50m平泳ぎ	渥美翔太郎	矢作	32"2	新	50m平泳ぎ	沢田 有希	矢作北	38"3	新
100m平泳ぎ	山本 卓	矢作北	1'18"9		100m平泳ぎ	瀧野亜由美	北	1'23"5	
50mバタフライ	中沢 駿秀	矢作北	28"3	新	50mバタフライ	加藤さゆり	城北	30"2	新
100mバタフライ	澤田 翔平	東海	1'01"3	新	100mバタフライ	新井 紀子	矢作	1'14"0	
200m個人メドレー	筒井 和也	岩津	2'19"7	新	200m個人メドレー	藤原 綾子	矢作	2'41"8	
400mメドレーリレー	中嶋・山本 中沢・角谷	矢作北	4'22"8	新	400mメドレーリレー	加藤・春山 岩下・上村	城北	4'58"5	
400mリレー	中沢・中嶋 角谷・田端	矢作北	3'56"3	新	400mリレー	久永・高野 河上・近藤	甲山	4'26"7	
男子総合	1位：矢作北	2位：竜海	3位：葵		女子総合	1位：甲山	2位：城北	3位：竜海	

★50mバタで2位の山本卓也（竜海）も新記録（30"8）

*表中の新は「新記録」、タイは「タイ記録」の意味 *表中の数字（3'56"3）は、3分56秒3を表す。

◆平成16年度教科・領域基礎研修会一覧

教科・領域	期日	会場	人数	教科・領域	期日	会場	人数
国語（書写）	8/3	南部市民センター（シビックセンター内）	40	技術・家庭科（中学校）	8/4	東部市民センター	40
社会	8/4	男川小学校 額田町方面	50	特別活動（野外活動）	7/29～31	岡崎市少年自然の家	40
算数・数学	8/4	教育研究所 205	60	英語	8/4	南部市民センター（シビックセンター内）	60
理科	8/3	六名小学校	50	特殊教育	8/4	教育研究所 301、303、304、305	45
生活	8/3	南部市民センター（分館）	50	学習情報（パソコン）	8/4	六名小学校	40
総合的な学習	8/4	六ッ美市民センター	60	学校図書館	8/2	教育研究所 205	40
音楽	8/2	愛知県青年の家	50	学校保健	8/4	中央総合公園野球場 第1会議室	60
図工・美術	8/3	おかざき世界子ども美術博物館	30				
保健体育	8/4	福岡小学校体育館	40				
家庭科（小学校）	8/3	六ッ美市民センター	20				

・カ
ツ
ト
愛
宕
小
杉
原
恵
美
子

フォトヒストリー

岡崎の教育

福岡小購買部 (昭和7年)

写真提供：福岡小学校

学用品を求め、子供たちが男女に分れて行儀よく順番を待つ風景である。黒板には、「新荷三角定規」とある。画面左に算盤そろばんを使って真剣に計算している児童の姿もある。

当時福岡小学校は、労作教育に取り組んでおり、その研究は「愛知県の新教育の推進中心校の観があった」と記録にある。幾つかの教科を合科的に扱い、座学で学んだことをもとに作業や体験活動に結びつけていくというものであった。購買部もその一環で、物品の購入を含め部の運営も全て児童が行っていたという。体験活動を重視する教育は、今に引き継がれている。



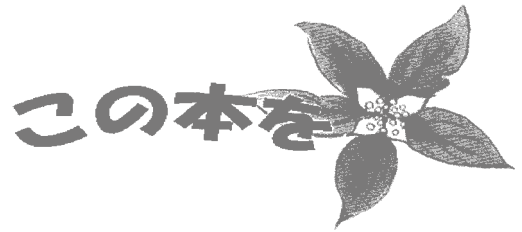
潮の香がまつた暑中見舞いが届いた。街にいて受け取る夏の手紙が、田舎で過ごした子供のころを思い出させる。強い日差しも、突然の雷雨も、むしろそのような草いきれも、夏らしいものは何もかも心躍らせるものだったあのころ。わくわくする夏は、これからが本番だ。

シオ スア

素足げたに下駄履き、涼しげな浴衣姿。地域の人から教えてもらった振り付けで、子供たちはちよっぴりはかみながらも楽しそうに踊っている。踊りの輪はしだいに広がってゆく。いつの世も、子供たちは地域とふれあい、地域に学んでいる。

オリンピックのアーチェリー種目に出場する山本博やまもとひろしさんは、高校で保健体育を教えている。毎日のフォームチェックは高校生部員が行い、その意見を素直に聞き入れる。子供たちを指導するだけでなく、子供たちから学ぼうとする姿。見習っていききたいものである。

アブラゼミの鳴き声の中、学習相談の時間がじりじりと過ぎてゆく。自分の進路に不安を感じながらも、懸命に机に向かう生徒たち。暑さを顧みず、自分で掲げた目標に向けて、ひたすら学習に打ち込む姿が頼もしい。こうした努力の継続は、新学期の大きな力となるはずである。



この本を

*教師とは	中野 光他	¥1800
つなん出版		
*森信三 一語千鈞	寺田 一清編	¥1200
致知出版社		
*こんなもんじゃ	山崎 方代	¥1300
文藝春秋		
*祖国とは国語	藤原 正彦	¥1500
講談社		

*灯し続けることば 大村 はま 小学館 ¥1000

「勉強のことは、どこまでも自分の責任と思って指導を工夫するのが、専門職としての教師です。」

どこを開いても、そこには「教えること」のプロとして自己を厳しく追求し、全てのエネルギーを教育に注ぎ込んできた先生のことばがある。『教師大村はま96歳の仕事』(小学館)で示された生涯現役教師としての姿が、なお98歳にして鮮烈しつたである。52のことばは、私たちを叱咤激励して止まない。